

2023年1月17日

第29回鉄道技術連合シンポジウム（J-RAIL2022）にて当社社員が論文発表しました

2022年12月7日（水）～9日（金）、電気学会 交通・電気鉄道技術委員会主催による第29回鉄道技術連合シンポジウム（J-RAIL2022）が開催され、「メンテナンスとコストダウン」のセッションにて事業推進本部インフラ保全事業部の早川和也と佐藤文彦の2名が論文発表いたしました。

鉄道技術連合シンポジウムは、電気工学、土木工学、機械工学の研究者および技術者が一堂に会して最近の国内外の鉄道技術一般における研究成果を発表し、情報や意見交換をすることを目的に開催されております。

この度のシンポジウムでは、『高度化と高速化』、『メンテナンスとコストダウン』、『環境とエネルギー』、『サービス向上』、『交通計画・政策・評価』、『安全と防災』、『境界領域研究』の7つのセッションが設けられました。当社は、『メンテナンスとコストダウン』のセッションに於いて2件の論文を発表しました。

1件目は、「鉄道建築構造物維持管理における検査基準の導入」について早川が発表者として登壇し、駅施設に利用されている内装部材の落下防止のための点検基準について研究成果を発表しました。2件目は「トンネル画像診断フィールドの検証」について佐藤が発表者として登壇し、技術導入に適した環境や今後課題について発表しました。

今後も論文発表の機会を利用し、当社の取組について情報発信をするとともに、各分野における専門家の方のアドバイスやご意見をもとに、サービス品質の改善・技術力の向上に努めてまいります。

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

TEL:03-5246-4150

URL: <https://www.atk-eng.jp/>

経営管理本部 吉田